

## VI. 社会貢献活動

1. 社会貢献の目標	4. 教員の社会的活動
2. 地域との連携	4.1 審議会等の活動
2.1 産学官連携における倫理規定	4.2 学外での講演等
2.2 地域の産・官との交流	5. 国際交流
2.3 自治体との連携	5.1 研究者及び学生の国際交流
2.4 医療機関との連携	5.2 調査等の協力
2.5 企業との連携	6. 同窓会との連携
2.6 教育界との連携	
3. 地域社会との交流	
3.1 地域との交流	
3.2 大学キャンパス周辺地域との交流	
3.3 小中高校生対象イベント	
3.4 大学施設の地域開放	
3.5 公開講座及び授業開放	

## VI 社会貢献活動

## 1. 社会貢献の目標

本学は、大分大学憲章において、社会貢献の目標を以下のように定めている。

1. 大分大学は、地域拠点大学として、教育・研究・医療の成果を地域社会に還元することにより、地域社会との連携と共存を図り、その発展に貢献する。
2. 大分大学は、国際的な拠点大学として、広く世界に目を向けて交流を進める。特に、アジア諸国との特徴ある国際交流を推進する。

## 2. 地域との連携

## 2.1 産学官連携における倫理規定

(現状)

平成17年度に策定した「利益相反ポリシー」を学内ホームページに掲載し学内構成員に対して周知し、啓発活動を行った。また、利益相反ポリシーに抵触する事案については、個別に対応を行っている。

(評価)

倫理規定「利益相反ポリシー」の策定により、産学官連携の基礎的条件を整備した。

## 2.2 地域の産学・官との交流

(現状)

本学は、全国の大学の中で最も早い時期（平成11年）に「地域連携推進室」を設置し、地域における産学官の連携に力を入れてきた。

これまでの産学官連携の中心は、地域共同研究センターが担ってきており、大分大学地域共同研究センター産学交流振興会、地域の工業団体・商工団体、自治体等と連携して交流を深めている。

また、本学大学院生を対象として開講しているMOT（Management of Technology＝技術経営）に関

する講義を社会人に開放するとともに、「地域 MOT 推進協議会」を発足させ、地場企業の技術経営の促進を図っている。

さらに、産学官連携や地域との連携を一層推進するための学内情報の統合と外部への窓口を一元化するため、平成 18 年 4 月にイノベーション機構を設置し、また、平成 18 年 12 月に学外リエゾンオフィスを設置した。

平成 19 年度においては、4 月に学内リエゾンオフィスを設置した。また、地域共同研究センターが大分市、宇佐市、津久見市との産学交流会を実施、研究シーズ発表会、知的財産に関する講習会等を開催したほか、イノベーション機構においても、知的財産・産学官連携に関する講演会の開催、自治体主催の中小企業支援事業への参加等、資料 2.2-1 に示すような連携事業を行っており、資料 2.2-2 に示すような産学官交流研究グループにも参加している。

(評価)

地域の産学交流会や相談会等を積極的に開催し、地域連携推進会議等へ参加していることから、地域の産・官との交流活動は適切に行われている。

資料 2.2-1 平成 19 年度 産学官連携事業

事業名	回数	対象者	参加者数	実施場所	実施日	主催者
大分市産業活性化プラザ運営協議会	3	県内企業 大学教員 大分市	—	大分市役所	H19.5.15 H19.6.13 H20.3.7	大分市
別府市まちづくり連携交流協定連絡会	1	別府市 商工会議所 大学代表者	—	大分国際交流会館	H19.5.15	別府市
大分県工業団体連合会総務企画委員会	2	県内企業 大学教員	40	学内他	通年	大分県
大分県工業団体連合会総会	1	県関係団体 大学 自治体 企業	—	第 2 ソフィアビル	H19.6.7	大分県工業団体連合会
産学官連携運営委員会	1	大分県 大学 企業	—	ソフトパークセンタービル	H19.9.18	産学官連携推進会議
おおいた協働ものづくり展	1	一般	2900	アートプラザ	H19.10.12 ～10.14	大分市工業連合会青年部会
大分市産学交流サロン	4	大学 高専 企業	—	大分市産業活性化プラザ	H19.5.16 H19.7.17 H19.11.13 H20.1.22	大分市
産学異業種交流会	1	大学 自治体 企業	—	宇佐市商工会議所	H19.11.20	宇佐市商工会議所・大分大学
産学交流会	1	大学 自治体 企業	—	津久見亀の井ホテル	H20.2.19	津久見市工業連合会・大分大学
大分市産業活性化プラザ中小企業支援講座	16	企業、一般	—	大分市産業活性化プラザ	H19.8～ H20.3	大分市
産学官交流大会	1	県関係 大学 企業	—	大分県産業化学技術センター	H20.3.13	産学官連携推進会議

資料 2.2-2 産学官連携推進会議 産学官交流研究グループ参加者

グループ名	主任	参加者	人数
超精密加工と関連装置の開発設計と製造工程の研究	工学部准教授	センター員	3
生物系材料の建築部材への有効利用	工学部教授	工学部教員	2
新しい食品加工技術の調査研究	(企業幹事)	センター員	1
ものづくりシステム I T 化推進研究会	センター員		1
真珠養殖における産業廃棄物の再資源化に関する研究	イノベーション機構教授		1
天然成分による殺ウイルス剤の開発	総合科学研究支援センター准教授		1
新エネルギー(風力・太陽光・バイオマス・燃料電池)実用化への研究	大分工業高等専門学校教授	工学部教員	1

### 2.3 自治体との連携

(現状)

平成 16 年度より自治体との連携を社会連携の柱として位置付け、県内全ての市と協定を締結することとし、各市町村と協議を重ね、平成 19 年度までに大分県及び県下すべての市町村(14 市 3 町 1 村)との協定締結を終えた。締結自治体を資料 2.3-1 に、連携実施状況を資料 2.3-2 に示す。

(評価)

自治体との協定を予定通りに実施しており、社会貢献活動として適切である。

資料 2.3-1 相互連携協力協定締結自治体

締結先	締結日	締結先	締結日
大分市	H16. 10. 25	豊後大野市	H18. 3. 2
中津市	H17. 1. 28	佐伯市	H18. 3. 8
豊後高田市	H17. 3. 1	杵築市	H18. 3. 28
別府市・別府商工会議所	H17. 5. 25	臼杵市	H18. 7. 27
大分県	H17. 8. 8	国東市	H18. 8. 30
宇佐市	H17. 8. 25	玖珠町	H20. 2. 5
日田市	H17. 10. 27	九重町	H20. 3. 3
竹田市	H17. 12. 16	日出町	H20. 3. 26
津久見市	H18. 2. 23	姫島村	H20. 3. 27
由布市	H18. 2. 28		

資料 2.3-2 平成 19 年度 自治体との連携実施状況

自治体	実施時期	連携(補助)事業名
-----	------	-----------

大分市	15. 3. 28～20. 3. 31	大分市現職教員教育等連携推進[継続事業]
	18. 12. 18～20. 12. 17	大分市産業活性化プラザ事業
	18. 4. 1～20. 3. 31	大分市開発審査会
	19. 4. 1～20. 3. 31	戸次本町街づくり推進事業 (戸次本町地区街なみ環境整備事業)
	19. 4. 1～20. 3. 31	大分市屋外彫刻検討委員会
	19. 4. 1～20. 3. 31	大分市緑の政策審議会
	19. 4. 1～20. 3. 31	新大分市緑の基本計画策定委員会
	19. 4. 1～20. 3. 31	大分市生活安全推進協議会
	19. 4. 1～20. 3. 31	大分市要保護児童対策地域協議会 ※18/6 大分市要保護児童対策地域協議会設置 (15/2 大分市子ども虐待防止 ネットワークを改組)
	19. 4. 1～20. 3. 31	特別保育事業 障害保育
	19. 4. 1～20. 3. 31	特別保育事業 障害児保育
	19. 4. 1～20. 3. 31	大分市親子通所事業
	19. 4. 1～20. 3. 31	大分市商工業振興計画策定事業
	19. 4. 1～20. 3. 31	大分市人権・同和教育推進連絡協議会
	19. 4. 1～20. 3. 31	大分市いじめ・不登校等対策協議会
	19. 4. 1～20. 3. 31	子ども教育相談センター運営協議会
	19. 4. 1～20. 3. 31	教育支援教室「フレンドリールーム」
	19. 4. 1～20. 3. 31	大分市都市計画審議会
	19. 4. 1～20. 3. 31	おおいた100景にかかる分析
	19. 4. 1～21. 3. 31	大分市屋外広告物審議会
	18. 4. 1～21. 3. 31	大分市水産基本計画策定事業
	19. 4. 1～20. 3. 31	大分市歴史資料館資料収集委員会
	19. 4. 1～20. 3. 31	大分市文化財保護審議会
	19. 4. 1～20. 3. 31	大分市歴史資料館協議会
	19. 5. 11～19. 7. 13	大学院教育学研究科臨床心理実習
	19. 5. 26～19. 7. 7	救急車同乗実習
	19. 6. 8～19. 8. 23	大分市教職員研修「教育相談研修講座」
	19. 6. 11～20. 3. 21	街なか居住におけるインセンティブ要因等に関する調査(都市再生整備計 画(まちづくり交付金)事業の提案事業)
	19. 6. 26～21. 6. 25	大分市景観審議会
	19. 6. 30～20. 3. 14	彫刻再生業務
	19. 7. 17～19. 10. 31	大分都市計画にかかる都市利用実態調査検討委託
	19. 7. 19～21. 7. 18	城址公園周辺地区景観協議会
	19. 8. 9～20. 3. 31	人材育成事業 : 中小企業支援講座
	19. 9. 1～20. 3. 31	大分市観光振興計画策定事業(大分市観光振興計画策定事業委託)
19. 11. 1～20. 3. 31	CO2削減推進事業	
19. 12. 1～20. 3. 31	大分市産業活性化プラザ事業[創業支援事業]	
20. 1. 1～20. 3. 31	人材育成事業 : MOT講座(全10回)	

	20. 3. 1～20. 3. 31	解剖見学指導
別府市	19. 4. 1～20. 3. 31	泉都別府ツーリズム支援事業
	19. 4. 1～20. 3. 31	ONSEN ツーリズム研究会別府市観光協会事業
	19. 4. 1～20. 3. 31	肥満解消教室「若き日の体型をめざす教室」
	19. 6. 1～20. 2. 28	国際理解教室
	19. 7. 23～19. 8. 3	学外実習
中津市	19. 4. 1～20. 11. 30	第4次中津市総合計画作成事業
	19. 4. 1～20. 3. 31	中津市新情報ネットワーク整備設計案等選定委員会
	19. 4. 1～21. 3. 31	行財政の効率化・適正化における諸課題
日田市	19. 8. 27～20. 3. 31	日田市の農林産物（柚子，トウガラシ）の増収と高品質化技術の開発事業
	20. 1. 1～20. 3. 31	合併後の全市的な学校規模の適正化推進事業
佐伯市	19. 4. 1～20. 3. 10	佐伯市環境基本計画策定事業
	19. 6. 19～20. 3. 31	佐伯市総合計画策定事業
	19. 6. 17～20. 2. 17	大分大学米水津塾
	18. 8. 10～20. 3. 31	佐伯市都市計画道路整備・見直方針案作成事業
	17. 10. 17～19. 10. 16	佐伯市行財政改革推進委員会
臼杵市	19. 4. 1～20. 3. 31	臼杵市まちづくり基本計画策定事業
	19. 4. 1～20. 3. 31	臼杵城再生整備事業（まちづくり交付金事業）
津久見市	19. 4. 1～20. 3. 31	津久見市生涯学習の講演事業
	19. 8. 24～19. 8. 26	第3回無垢島自然体験学習会
豊後高田市	19. 5. 1～20. 2. 28	学びの21世紀塾（いきいき土曜日事業，わくわく体験活動事業）
	19. 10. 1～20. 2. 28	商店街CATV活用調査事業（中心市街地商業活性化推進事業：国 交省）
	19. 10. 1～20. 2. 28	キラリと光るまちづくりプロジェクト（頑張る地方応援プログラム：総務省）
杵築市	18. 1. 24～20. 1. 23	杵築市行政改革審議会
宇佐市	19. 4. 1～20. 3. 31	地域コミュニティ推進事業
	19. 4. 1～20. 3. 31	5歳児発達相談（健診）事業
	19. 4. 1～20. 3. 31	地域交通計画に基づく運行計画見直し
由布市	19. 4. 1～20. 3. 31	由布川小・挾間中病院内学級設置事業
	19. 11. 17～19. 11. 18	皮膚ガン検診

## 2.4 医療機関との連携

（現状）

本学医学部および医学部附属病院の医師を地域の医療機関に非常勤医師として派遣している。

平成18年度は、医師延べ740人を派遣していたのに対し、平成19年度は延べ189の施設に延べ764名を派遣しており、前年度と比較して延べ24人増加している。全て、兼業手続きを行っている。

なお、常勤医師の派遣については、透明性を確保するため、医学部地域医療対策委員会において審査しており、平成19年度では、36名を派遣依頼に応じ派遣している。

（評価）

地域医療のニーズに応え非常勤医師を派遣しており、また、常勤医師の派遣に当たっては透明性を確保できている。

## 2.5 企業との連携

(現状)

平成16年度に株式会社大分銀行，株式会社豊和銀行と，平成17年度は大分信用金庫，大分みらい信用金庫，株式会社トキハと包括協力協定を締結した。金融機関との包括協力協定の締結は全国でも珍しい。

また，平成18年度においては，中小企業金融公庫大分支店との包括協力協定を締結した。大分合同新聞とは同社の創刊120周年を記念して，「明日を守る」－防災立県めざして－の実施に関する協定を結び（平成18年1月），平成18年度中に多くの企画を共同で実施した。

平成19年度は株式会社大分銀行，大分みらい信用金庫がそれぞれ開催した中小企業のための商談・マッチング等，地元経済の活性化のためのイベントに参加・協力をした。

(評価)

相談会等の活発な開催により企業のニーズに積極的に応えており，適切な連携活動を行っている。

資料 2.5-1 包括連携協定を締結した企業との協力内容

企業名	締結日	主な連携協力内容
株式会社大分銀行	H16. 8. 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域振興への貢献</li> <li>・共同研究等による地場企業の育成強化</li> <li>・ベンチャー企業の育成</li> <li>・相互の人材育成</li> </ul>
株式会社豊和銀行	H16. 8. 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育研究活動の連携</li> <li>・研究成果の普及，活用促進</li> <li>・学習機会の提供</li> <li>・中小企業への支援，情報提供</li> <li>・地域振興への貢献</li> </ul>
株式会社トキハ	H17. 5. 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域振興への貢献</li> <li>・販売戦略に関する共同研究</li> <li>・相互の人材育成</li> </ul>
大分信用金庫	H17. 6. 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元産業の発展に寄与</li> <li>・共同研究等による地場企業の育成強化</li> <li>・ベンチャー企業の育成</li> <li>・相互の人材育成</li> </ul>
大分みらい信用金庫	H17. 6. 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりを通じた地域振興の貢献</li> <li>・地場産業からの技術相談，研究相談</li> <li>・大分大学と地場企業との共同研究の推進</li> <li>・中小企業等の創業，新事業支援</li> </ul>
中小企業金融公庫大分支店	H18. 12. 21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「産学連携の協力推進に係る協定」を締結</li> </ul>

### 2.5.1 共同研究・受託研究

(現状)

本学における研究活動の現状と評価については，「IV 研究活動」の「4.2 共同研究／受託研究」で詳細に述べているので，ここでは地域に関連する事項のみを要約する。

平成 19 年度の研究依頼機関の所在地は、共同研究 122 件の内 74 件が、受託研究 51 件の内 10 件が県内機関とのものである。県内企業との共同研究テーマの事例を資料 2.5.1-1 に示す。

また、受託事業（商業の活性化及び福祉のまちおこし調査事業ほか；13 件）の実施などにより地域との連携を深めている（資料 2.5.1-2, -3 参照）。

（評価）

共同研究・受託研究・受託事業は、地域との連携の強さを示し、地域に結びついた研究活動によって適切な地域貢献をしている。

資料 2.5.1-1 平成 19 年度 県内企業との共同研究テーマの事例

担当者	研究テーマ	契約金額(円)
工学部講師	定型文書の書式解析および認識に関する研究	2,000,000
工学部助教	動作の高速アニメーション化方式に関する研究	2,000,000
工学部教授	非決定的パラメータにおける最適化方式とオペレータ配置計画の研究	1,540,000
工学部助教	スポーツコンテンツスタジオシステムに関する研究	5,313,000
工学部教授	ポリマーネットワーク型液晶の性能向上に関する研究	1,000,000
工学部准教授	植物の樹液濃度を増加させる葉面散布剤の開発	1,000,000
工学部教授	中品質解体廃木材を有効利用した厚板耐力壁ユニットの開発	1,400,000
工学部教授	産業廃棄物を改質した材料を用いた土木・建築用資材の開発	5,500,000
工学部講師	手書き文字が記入された定型文書の解析に関する研究	2,000,000

資料 2.5.1-2 平成 19 年度 受託事業状況

部局区分	件数
教育福祉科学部	4
経済学部	3
医学部	1
工学部	3
その他	3
計	14

資料 2.5.1-3 平成 19 年度 寄付金状況

部局区分	件数
教育福祉科学部	18
経済学部	6
医学部	772
工学部	66
その他	16
計	878

## 2.5.2 産業創出・製品開発

（現状）

本学の持つ知的資源を社会に生かすため、VBL（ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー）はベンチャー企業の育成を図っている。現在までに VBL が関与して設立されたベンチャー企業を資料 2.5.2-1 に示す。

現在は、新製品の開発、特許取得に向けて、以下に掲げる各事業を積極的に推進している。特許出願も数合わせの出願でなく、新規商品を開発し、それを市場化するための出願がなされている。実際に、地場企業との共同研究により、市場化された開発商品も出てきた。平成 18 年度までに本学の関った商品を資料 2.5.2-2 に、平成 19 年度に開発された商品を、資料 2.5.2-3 に示す。

(写真) 後藤体器との共同研究で開発した下肢ストレッチャー



(評価)

ベンチャー企業の設立、新商品への関わりなど、地域の産業創出・製品開発に対して新製品の創出にも関わるなど、成果が挙げられている。

資料 2.5.2-1 本学発ベンチャー企業の一覧

社会システム総合研究所株式会社	株式会社ゼロテクノ
有限会社ニューライム研究社	株式会社ジーマム
有限会社オフィス・ラジオロジスト	株式会社まちづくり白杵
株式会社ルネスインターナショナル	有限会社大分 TLO
有限会社ケムテックイノベーションズ	WILLNG
有限会社グローバル・エンバイロメンタル・テクノロジー	有限会社イーエイジット
エンバイロメンタルコントリビューションインターナショナル	株式会社環境総研九州

資料 2.5.2-2 本学の関わりのあった新製品

商品名	製品名	担当者	関連企業
虚空蔵「麦酢」	発酵大麦エキス	教育福祉科学部 教授	三和酒類株式会社
赤ワイン	赤ワイン	医学部 教授	三和酒類株式会社
スポンジュレまる まるコラーゲン	ゼリー	教育福祉科学部 教授	塚崎薬品工業株式会社
しじみ週間	シジミエキス	教育福祉科学部 教授	佐々木食品工業株式会社
空気清浄機	空気清浄機	工学部 教授	ダイキン工業株式会社
つちカエル	生ゴミ処理機	工学部 准教授	株式会社エコアップ
ゆずはちみつスペシ ヤル	アレルギー軽減の 健康飲料	工学部 准教授	日田市第三セクター, 株式 会社つえエーピー
酢糖Mg (2006年4月)	葉面散布剤	工学部 准教授	ファームテック株式会社
アミノ酢糖 (2006年4月)	有機認証用の葉面 散布剤	工学部 准教授	ファームテック株式会社
ルビスク (2006年10月)	植物用の代謝促進 剤	工学部 准教授	ファームテック株式会社

枝わさ	冷凍食品（枝豆）	工学部 准教授	株式会社海老江
フィットネスストレッチャー	下肢自動ストレッチ装置	総合科学研究支援センター 准教授	後藤体器株式会社
豊のたちばな	和菓子	工学部 准教授	株式会社ざびえる本舗

資料 2.5.2-3 平成 19 年度に開発された新製品

商品名	製品名	担当者	関連企業
枝わさ	冷凍食品（枝豆）	工学部 准教授	株式会社海老江
フィットネスストレッチャー	下肢自動ストレッチ装置	総合科学研究支援センター 准教授	後藤体器株式会社
豊のたちばな	和菓子	工学部 准教授	株式会社ざびえる本舗

## 2.6 教育界との連携

(現状)

大分県教育委員会との連携としては、教育福祉科学部において、夏季休業期間を利用した「大分県教育職員免許法認定講習」を開講した。講習は、9 の講座に講師として本学教員 7 名と学外講師 4 名の協力を得て実施し、400 人の受講者があった。

また、大分県教育委員会や大分市教育委員会が開催した「10 年経験者講習」（研修日数延べ 62 日）に対し、延べ 44 の講座に、本学から講師を延べ 55 人派遣した。

(評価)

教員を対象とした（研修）講義を実施し、地域の教育委員会からの要請に応じている。

## 3 地域社会との交流

### 3.1 地域との交流

(現状)

地域社会との交流を図るため、毎年、大学開放イベント・公開講演会等の開催など、地域との連携を目指した事業を実施している（資料 3.1-1, -2 参照）。特に、本学は、地域の行事である「チキリンばやし大会」や「はさまきちよくれ祭り」、「ななせの火群まつり」に積極的に参加している。また、公開講演会は、多くの一般市民の参加を得ている。この他、本学教員を高校に派遣して授業を行う出前講義、宿泊を伴う世代間交流出張講座、図書館が行う読み聞かせ会など、特色ある事業を展開している（資料 3.1-3 参照）。

さらに、平成 18 年度から「大分大学活き<sup>2</sup> プロジェクト」を開始し、学生が主催する地域連携イベントが増えたことも特色として挙げられる。特に「彫刻を活かしたまちづくり」は平成 18 年度に活き<sup>2</sup> プロジェクトで実施した事業であるが、損傷の激しかった市内の彫刻作品が修復作業により見違えるほど美しく甦ったことが大分市から高く評価されたため、平成 19 年度では大分市との共催事業として発展したことは特筆に価する。

(評価)

さまざまな事業を通して、地域社会との交流が積極的に行われている。

資料 3.1-1 平成 19 年度 大学開放イベントおよび地域への参加事業

事業名	実施月日	対象者	参加者数	実施部局	実施場所	回数	共催等
キャンドルナイト in 分大	H19. 6. 29	一般市民	200 (本学関係者)	大分大学	旦野原キャンパス	1	大分県ごみゼロおおいだ大作戦
第 8 回ななせの火群まつり	H19. 7. 28 ～ H19. 7. 29	大分市民	36 (本学関係者)	大分大学	大分市・七瀬川自然公園	2	大分市主催
チキリンばやし市民総おどり大会	H19. 8. 4	大分市民	150 (本学関係者)	大分大学	大分駅前 47 万人の広場	1	大分市主催
大分大学開放イベント 2007	H19. 11. 4	一般市民	2,000 (一般参加者)	大分大学	旦野原キャンパス	1	協定自治体・企業出展
はさま きちよくれ祭り	H19. 11. 10 ～ H19. 11. 11	由布市民	30 (本学関係者)	医学部	由布市挾間町中須賀グラウンド	2	由布市主催

資料 3.1-2 平成 19 年度 公開講演会等開催状況

事業名	実施月日	対象者	参加者数	実施部局	場所	回数	共催等
おおいだ学生水フォーラム	H19. 12. 3	市民一般	500	大分大学	別府市ビーコプラザ	1	県内他大学
講演会（経済）	H19. 5. 15 他	学生 教職員 市民一般	840	経済学部	本学	4	
大分 EU 協会 20 周年記念シンポジウム	H19. 6. 20	学生 教職員 市民一般	120	経済学部	本学	1	大分 EU 協会 後援：駐日欧州委員会代表部
センター講演会（大分の歴史と工業技術の展開）	H19. 11. 5	学生 教職員 市民一般	30	地域共同研究センター	本学	1	
センター講演会（医薬バイオ分野における知的財産活動に関する講演会）	H20. 1. 22	学生 教職員 市民一般	30	地域共同研究センター	挾間キャンパス	1	
講演会（情報処理）	H19. 12. 25	学生 教職員 市民一般	48	総合情報処理センター	本学	1	
VBL セミナー・講演会	H20. 3. 6 ～ H20. 3. 10	学生 市民一般	110	VBL	本学他	2	
アントレプレナーセミナー	H20. 3. 8 ～ H20. 3. 15	学生 小学校 4 年生 ～ 中学校 2 年生	10	VBL	本学他	3	大分県，大分県教育委員会，豊和銀行
大分大学福祉フォーラム（第 11 回）	H19. 11. 19	学生 教職員 市民一般	400	福祉科学研究センター	県施設	1	大分県，大分市他
講演会（福祉）	H19. 7. 17	学生 教職員 市民一般	110	福祉科学研究センター	本学	1	大分市

福祉のまちおこし研究	H19. 7. 2 他	学生 教職員 市民一般	130	福祉科学研究センター	団地, 市街地他	4	大分市, 別府市
九州福祉用具フォーラム	H19. 11. 30 ～ H19. 12. 1	学生 教職員 市民一般	500	福祉科学研究センター	全労災ソレイユ他	1	
講演会 (メンタルヘルス)	H19. 12. 13	学生 教職員 市民一般	60	保健管理センター	本学	1	
講演会 (セクハラ・アルハラ)	H19. 5. 16	学生 教職員 市民一般	200	保健管理センター	本学	1	
第4回福祉専門職講座(地域福祉を推進するエンパワメントの具体的な技法とは)	H20. 1. 26	福祉専門職関係者・学生・市民一般	170	福祉社会科学部	大分県福祉介護研修センター	1	大分県社会福祉介護研修センター・福祉社会科学部同窓会
大分大学教育臨床フォーラム	H20. 1. 5	教育関係者 スクールカウンセラー 学生 市民一般	150	教育福祉科学部(附属教育実践総合センター)	大分全日空ホテル オアシスタワー5階孔雀の間	1	
半導体テスト技術者育成実証講座ベーシックコース	H19. 6. 14, H19. 6. 21	学生及び非就労者	20	工学部(電子)	大分県LSIクラスター形成推進会議	1	(主催) 大分県LSIクラスター形成推進会議
中核人材育成講座「半導体テスト・解析技術解説<座学と実習>」	H19. 12. 1, 8, 15, 22	民間の中堅技術者	20	工学部(電子)	九州半導体イノベーション協議会	1	(主催) 九州半導体イノベーション協議会
半導体評価・テスト解析技術ベーシック講座	H19. 12. 7 ～12. 27	一般社会人技術者	20	工学部(電子)	大分県LSIクラスター形成推進会議	1	(主催) 大分県LSIクラスター形成推進会議

資料 3.1-3 平成 19 年度 その他の地域連携事業

事業名	実施日	対象者	参加者数	実施部局	実施場所	回数	共催等
出前講義	通年	高校生		事務局(入試課)	各高校等	18	
高校の大学訪問	通年	高校生	645	事務局(入試課)	旦野原キャンパス, 挾間キャンパス他	5	
彫刻を活かしたまちづくり	H19. 6. 30 ～ H19. 7. 1, H19. 11. 23 ～ H19. 11. 24	市民一般	50	教育福祉部	市内	4	大分市

読み聞かせ会	H19. 6. 30 ～ H20. 3. 28	児童	59	附属図書館	附属図書館	9	
史跡岡城跡公開活用事業	H18. 9 ～ H19. 8	市民一般		教育福祉部, 工学部	竹田市		竹田市, 大分県 立芸術 文化短 期大学
第2回おおいた協働ものづくり展	H19. 10. 12 ～ H19. 10. 14	市民一般		事務局 (研究・ 社会連 携課)	大分アート プラザ	3	大分市 工業連 合会青 年部会
地層見学	H19. 10. 18 H19. 10. 29 H19. 11. 13	小学生	200	教育福祉部	旦野原キャン パス	3	市内小 学校等 3校
サイエンス交差点	H19. 8. 10 ～ H19. 12. 2	市民一般	148	大分大 学	別府市, 大分 市, 豊後高田 市	6	J S T 支援事 業
老人保健施設慰労訪問	H19. 12. 26	老人保健施設入居者	50	経済学部(栲田ゼミ)	やすらぎ苑	1	
活き <sup>2</sup> バレーボール大会	H19. 11. 25	市民一般	100	経済学部学生	旦野原キャン パス	1	
学習ボランティア研修	H19. 6. 2～ 6. 3	学生, 講座同窓生	14	生涯学習教育センター	大分県立香々地青少年の家	1	
大分サイエンス交差点	H19. 8. 10 8. 25 9. 22 10. 7 12. 1～2	市民	58 28 45 31 31	生涯学習教育センター	京都大学地球熱学研究施設、大分市アートプラザ、うみたまご、大分県立香々地青少年の家など	5	独立行政 法人技 術振興 機構
「研究の最前線」	H19. 9. 8 10. 13	市民	8 12	生涯学習教育センター	NHK大分文化センター	2	NHK 大分文 化セン ター
地域経済研究センター設立記念シンポジウム	H19. 12. 15	企業等従業員、学生、一般市民	100	経済学部	経済学部	1	
JST サイエンスパートナーシッププロジェクト, 講座型学習活動プランB 講座名: 宿泊体験型科学教室「科学の不思議」小学生講座 I, II 「ロボットの世界」	H19. 10. 20-21, H19. 11. 23-24	小4～6年生	約30人×2	工学部	香々地青少年の家	2	香々地 青少年 の家

小学生向け特別授業	H19. 11. 27	日田市立小野小学校5, 6年生	18	工学部環境工学科構造研究室	日田市立小野小学校	1	
-----------	-------------	-----------------	----	---------------	-----------	---	--

### 3.2 大学キャンパス周辺地域との交流

(現状)

本学が旦野原キャンパス周辺住民との交流を目的に開催してきた「大分大学と地域自治会等との懇談会」は、平成19年度で9回目となる。平成19年度は、本学を会場に、周辺6自治会の住民、駕野校区自治会長、大分大学前駅長、東植田中学校長の24人及び本学関係者(学長・役員、学部長・事務長、学生支援部の課長、学生団体代表等)26人が出席した。

また、平成19年12月には、本学国際交流会館のある大分市錦町との共催で、「世界のダイニング」を開催した。このイベントは「大分大学活き<sup>2</sup>プロジェクト」のひとつであり、企画・運営は学生サークル「大分大学国際交流ボランティア」が実施した。当日は、留学生が「もちつき」や「茶道」など日本の伝統的文化に触れたほか、中国、韓国、タイ、マレーシア等の「お国自慢料理」を地域の方に振舞った。

(評価)

旦野原キャンパス周辺住民との話し合いの場を校内から地域施設に移して開催し出席の便を図るなど、周辺地域住民との交流に積極性を示している。

資料 3.2-1 平成19年度 周辺地域との交流事業

事業名	実施日	対象者	参加者数	実施部局	実施場所	回数	共催等
親と子の大学キャンパス自然観察会	H19. 6. 30 H19. 10. 6	小学生, 保護者	70	大分大学	旦野原キャンパス	2	大分市南部公民館
世界のダイニング	H19. 12. 16	錦町地区住民	200	国際教育研究センター	大分市長浜校区公民館	1	活き <sup>2</sup> プロジェクト2007
クリスマス大作戦	H19. 12. 24	周辺地域住民	40	教育福祉科学部	旦野原キャンパス	1	
大分大学と地域自治会等との懇談会	H20. 1. 21	自治会住民等	24	大分大学	旦野原キャンパス	1	各自治会等

### 3.3 小中高校生対象イベント

(現状)

本学は、これまでに小・中学生を対象とした企画を継続的に実施している。こうした企画は、大分市及び別府市内の全小・中学校にPRパンフレットを郵送あるいは配布し、広報を行っている。

平成19年度は、資料3.3-1に示すように、「ものづくり教室」、「夏休み子供サイエンス」等10のイベントを実施し、参加型6イベントに2,586人、公開講座型4イベントに130人の参加者を得た。

高校生を対象としたイベントとして、資料3.3-2に示すように、学長と語ろうの会、大分大学進学説明会(オープンキャンパス時)、高校訪問による出前講義などを実施している。

本学の高校を訪問して実施している出前講義は、18高校を訪問して、延べ33人の教員が講義を行った。高校生の大学訪問は5校、645人であった。

(評価)

小・中・高構成を対象としたイベント等を活発に行い、本学並びに学びへの興味を引き立てることに貢献している。

資料 3.3-1 平成 19 年度 小・中校生対象イベント

事業名		実施月日	対象者	参加者数	実施部局	回数
参加型	読み聞かせ会	通年	小, 保	59	附属図書館	9
	夏休み子どもサイエンス	H19. 8. 9	小, 中, 保	1, 234	工学部, 教育福祉科学部, 医学部	1
	「障害児の放課後問題を考える会」夏祭り	H19. 8. 18	小, 保	100	教育福祉科学部学生	1
	小児科医と遊ぼう	H19. 10. 8	幼, 小, 保	200	医学部	1
	J S T S P P 科学の不思議 小学生講座 ロボットの世界	H19. 10. 20 他	小 5 ~ 6 年生	60	工学部	4
	たんけんしよう! 科学と技術のふしぎな世界 2008	H20. 3. 15	小, 中, 保	933	工学部	1
公開講座型	夏休み子ども造形美術教室	H19. 8. 2 ~H19. 8. 3	小 4 ~ 6 年生	46	附属中学校	2
	ものづくり探検隊	H20. 3. 1	小, 保	32	教育福祉科学部	1
	身近な生物の電子図鑑をつくろう	H20. 3. 1	小, 保	36	教育福祉科学部	1
	パソコンでオリジナルカレンダーをつくろう!	H20. 3. 15	小, 中, 保	16	総合情報処理センター	1

注： 対象者の小は小学生，中は中学生，保は保護者，教は教員を示す。

資料 3.3-2 平成 19 年度 高校生対象イベント

事業名	実施月日	対象者	参加者数	実施部局	回数
大分大学進学説明会 (オープンキャンパス)	H19. 8. 1	高校生, 保護者等	2, 773	事務局 (入試課)	1
学長と語ろうの会	H19. 8. 24	高校生	62	入試課	1
高校生なるほどアイデアコンテスト 2007	H19. 8. 20 ~ H19. 9. 28	高校生	208	経済学部	1
学生によるオープンキャンパス	H19. 10. 6 ~ H19. 10. 7 H19. 11. 4	高校生	108	入試課	2

### 3.4 大学施設の地域開放

(現状)

本学施設の有効利用および資金獲得を目的として、教育研究活動に支障のない範囲で、土曜・日曜・祝日、本学の休業中を中心に本学の施設を地域社会等に開放している。平成 18 年度から、貸付事務手続きの簡素化を図ると共に、料金表等を公開ホームページに公開し利用者の利便性を向上させ、件数で約 13%、金額で約 26% 増となったが、平成 19 年度においては、教育福祉科学部及び経済学部の耐震改修工事等の影響で、講義室関係を使用した試験等の大口の貸付が工学部だけでは対応できず、

件数、金額とも減少した。

平成 19 年度の実績を資料 3.4-1 に、その利用例を資料 3.4-2 に示す。前年度と比較して、件数で約 25%、日数で約 13%、金額で約 38%の減少となった。

(評価)

前年度と比較して一時貸し付け件数は減少しているが、貸付施設が改修工事等で使用できなかったためである。本学施設利用の要求は広がっており、きめ細かい対応に努めている。

資料 3.4-1 平成 19 年度 教室等の一時貸付一覧 ( ) 内は前年度実績

区分		件数	貸付日数	使用料収入(円)
A	学会・研究会・研修会・公開講座等	36(39)	357(347)	907,975(1,006,735)
B	各種資格・認定試験等	12(14)	17(19)	1,313,900(1,682,400)
C	職員採用試験等	2(6)	2(10)	96,150(876,650)
D	入試・入試説明会・模擬試験等	5(10)	8(16)	308,800(649,850)
E	スポーツ施設利用等	3(8)	25(76)	88,600(176,200)
	計	58(77)	409(468)	2,715,425(4,391,835)

資料 3.4-2 平成 19 年度 教室等一時貸付の例

区分	貸付相手方	目的
A	大分県教育庁	大分県教育職員免許法認定講習
	AHA 大分 ACLS トレーニングサイト	心肺蘇生法講習会
	日本物理学会	日本物理学会救急支部例会
	大分県糖尿病臨床医会	大分県糖尿病療養指導士会
	日田市	放課後児童クラブ
B	(財) 消防試験研究センター大分県支部	危険物取扱者資格試験
	社団法人全国火薬類保安協会	火薬類取扱保安責任者等試験
	大分県福祉保健部	大分県介護支援専門員実務研修受講試験
	(財) 行政書士試験研究センター	行政書士試験
	(特非) 福祉総合評価機構	社会福祉会計簿記検定試験
C	人事院九州事務局長	国家公務員採用Ⅲ種試験
	法務省	刑務官採用試験
D	東進衛星予備校大分中央校	模擬試験
	代々木ゼミナール福岡校	代々木ゼミナール公開模試
	大分県立竹田高等学校	模擬試験
	福岡大学	福岡大学地方入学試験
E	大分市消防局	全国消防救助技術大会(水上の部)に向けた訓練
	大分市教育委員会	市内小学校教員対象実技研修会
	大分県教育庁	大分県教育委員会免許法認定講習

### 3.5 公開講座及び授業開放

### 3.5.1 公開講座

(現状)

本学は、大学開放事業の一環として公開講座を実施している。平成19年度は、資料3.5-1に示すように20講座を開講し、378人(18年度は、18講座547人)の参加があった。平成19年度の開講数・参加者数は、前年度に比し2講座増であるが、未実施の講座があり169人減であった。

(評価)

公開講座の数は昨年より2講座多く設定したが、受講募集がなかったため未実施の講座が7講座あった。今後は、公開講座の開講情報をより幅広く市民に周知する方を検討する必要がある。(20年度は過去に公開授業を受講した市民に個別に公開講座の案内を送付した。)

資料3.5-1 平成19年度 公開講座状況

番号	講座名	開設期間	開設部局	受講者数	募集人員
1	学習ボランティア講座 - 子どもたちへの指導法を考える -	未実施	生涯学習教育研究センター	-	15
2	出前講座 - 大分大学米水津塾 -	H19.6.17 ~H20.2.17	教育福祉科学部	50	40
3	理科や算数を使って親子で遊ぼう	H19.7.21 ~H19.11.10	教育福祉科学部	8	30
4	泳げない男の子の水泳教室	H19.7.24 ~H19.7.31	教育福祉科学部 ・工学部	24	20
5	泳げない女の子の水泳教室	H19.7.24 ~H19.7.31	教育福祉科学部 ・工学部	24	20
6	ちびっ子スイミング男子	H19.7.24 ~H19.7.31	教育福祉科学部 ・工学部	12	10
7	ちびっ子スイミング女子	H19.7.24 ~H19.7.31	教育福祉科学部 ・工学部	12	10
8	医学部公開, 附属病院の有効活用!	H19.7.25 ~H19.9.12	医学部	87	50
9	地球の生命と宇宙のつながり	H19.7.28 ~H19.8.4	教育福祉科学部	31	50
10	夏休み子ども造形美術教室	H19.8.2 ~H19.8.3	教育福祉科学部 ・附属中学校	38	40
11	夏休み小学生“NEW”スポーツキャンプ	H19.8.20 ~H19.8.22	経済学部	20	20
12	健康スポーツの科学と実際	未実施	教育福祉科学部	-	30
13	楽しくつくろう! 木工教室	H19.8.20 ~H19.8.24	教育福祉科学部 ・附属中学校	20	16
14	メカライフの世界	未実施	工学部	-	30
15	企業経営の新しい課題	H19.9.20 ~H19.10.25	経済学部	29	50
16	くらしのなかの「資産管理」	H19.11.10 ~H19.12.15	経済学部	23	50
17	子どものこころを守り育てる心理学	未実施	教育福祉科学部	-	40
18	英語の楽しみ方	未実施	教育福祉科学部	-	20
19	ヘルスツーリズム体験版	未実施	経済学部	-	30

20	親子で挑戦！九重わくわく体験ツアー	未実施	生涯学習教育研究センター	—	50
合 計				378	621
前年度 合計				547	571

### 3.5.2 公開授業

(現状)

本学は、学生向けに開講している講義科目を一般に公開する公開授業を継続して実施している。平成19年度は、資料3.5.2-1で示すように97科目で合計84人の受講者があった。前年度に比し、科目数は1.05倍増となり、受講者は1.12倍と増加している。

(評価)

公開授業科目数は毎年増加しており、教員の意識は授業公開に積極的である。今後は、広報活動の拡充を図り、受講者数の拡大に努める。

資料 3.5.2-1 平成19年度 公開授業の開講科目数及び受講者数

	開講科目数	受講者数
前期	54	59
後期	43	25
計	97	84
前年度 計	92	75

募集人員は、各科目10名、MOT特論のみ25名

## 4. 教員の社会的活動

### 4.1 審議会等の活動

(現状)

本学の知的財産である教員はその専門性を生かし、社会の様々な審議会等に参画している。参画する場合は、兼業を届け出て、承認を得ることになっている。

平成19年度は、資料4.1-1に示すように、国、県、その他公的機関や公益法人等で延べ約270名が活動したほか、非常勤講師等の教育に関しては延べ約230名が地域の活動に参画した。

また、相互連携協力協定を締結している大分県及び県下すべての市町村（14市3町1村）を訪問し、地域が抱えている課題について調査を行っており、各専門の教員が課題解決に取り組んでいる。

(評価)

教員はその専門性を活かし、社会の様々な分野において活動しており、地域・社会の要請に十分に応えている。

資料 4.1-1 平成19年度 兼業承認件数

区 分	役員	その他の職員					合計
		教育福祉科学部	経済学部	医学部	工学部	その他	
		(97)	(62)	(278)	(114)	(32)	(583)

営利企業の 役員等の 兼業	技術移転兼業	0	0	0	0	0	0	0
	研究成果 活用兼業	0	0	0	0	0	0	0
	監査役兼業	0	0	0	0	0	0	0
	その他の 役員の兼業	0	0	0	0	0	0	0
営利企業の役員以外の兼業		4	9	2	813	18	9	855
教育に関する兼業		0	91	36	61	35	11	234
国等の行政機関の兼業		14	65	23	74	18	15	209
独立行政法人の兼業		1	18	3	12	15	11	60
国立大学法人等の兼業		0	20	5	17	10	1	53
自営の兼業		0	0	0	0	0	0	0
合 計		19	203	69	977	96	47	1,411

注：1 その他には、福祉社会科学研究科及びセンター等の専任教員を含む。

2 ( ) 内の数字は、平成 19 年度の在籍教員数

## 4.2 学外での講演等

(現状)

本学の教員が自らの専門知識、経験等を直接的な形で社会や地域に還元する活動の一つとして、学内・外において、講演活動等を行っている。平成 19 年度は、資料 4.2-1 に示すように合計 952 回の講演を行った。

(評価)

教員はその専門性を活かして講演活動を行い、地域・社会の要請に応じている。

資料 4.2-1 平成 19 年度 学外での講演等活動件数

部局等	合計 (583)	教育福祉 学部(97)	経済学部 (62)	医学部 (278)	工学部 (114)	福祉社会 科学研究 科(2)	センター (30)
19 年度	952	69	14	843	7	14	5
18 年度	791	146	3	631	11		
17 年度	254	45	3	158	45		3

( ) 内の数字は平成 19 年度の在籍教員数

## 5. 国際交流

### 5.1 研究者及び学生の国際交流

(現状)

本学は、国際交流促進の一環として、各国の大学・病院等と国際交流協定を結んでいる。平成 19 年度には、資料 5.1-1 に示すように 7 校と新たに締結を結んだ。平成 19 年度までの国際交流協定締結校は、資料 5.1-2 に示すように、中国 11、韓国 14、アメリカ 6 等の 16 ヶ国、47 校（病院を含む；学部間協定校を含む）であり、うち 36 校が学術交流を、また 41 校が学生交流を目的としている。

協定締結校との学生交流では、受入学生のうちアジア地域からが 78%弱を占めているが、派遣学生はアジア地域とアメリカ・ヨーロッパの英語圏とが半数ずつとなっている。アジア地域への派遣が増加したものの、受入が派遣を上回る状況である。また、研究者交流では、派遣が受入を上回っているが、協定締結校以外については、派遣と受入が概ね同数となっている。学生の派遣を促進する方策として、平成 19 年度は TOEFL-ITP の実施、留学英語の取組などを行った。

国際交流協定を締結している大学等の大半がアジア地域であることから、大分市と友好都市である武漢市の大分市事務所内に「大分大学事務所」を平成 18 年 5 月に設置し、本学の活動拠点としているが、大分大学事務所を中心として帰国留学生のネットワークを構築し、武漢市に在住する本学OBを中心とする中国人留学生同窓会の設立を検討する。

(評価)

協定校数、派遣・受入留学生数は増加し、海外の活動拠点を確保するなど、国際交流事業は適切に展開されている。今後は派遣の促進に努める。

資料 5.1-1 平成 19 年度 新規交流協定締結校

地域	大学名	国又は地域	締結年月日	交流内容
北米	アーカンソー大学フォートスミス校	アメリカ合衆国	H19. 5. 22	学生交流
ヨーロッパ	オスロ大学	ノルウェー	H19. 10. 19	学術交流 学生交流
	カーロリ・ガーシュパール・カルビン派大学	ハンガリー	H19. 11. 6	学術交流 学生交流
アジア	釜山大学校	韓国	H19. 4. 5	学術交流 学生交流
	江陵大学校	韓国	H19. 8. 9	学術交流 学生交流
	セントルークス病院	フィリピン	H19. 9. 25	学術交流 学生交流
	光州大学校	韓国	H20. 3. 14	学術交流 学生交流

資料 5.1-2 平成 19 年度 研究者・学生の派遣と受入数

地域	国又は地域	締結校数	研究者		学生	
			派遣	受入	派遣	受入
北米	アメリカ合衆国	6	4	0	5	10
中南米	ドミニカ共和国	2	3	0	0	0
ヨーロッパ	オランダ	1	0	0	0	0
	イギリス	1	2	0	2	0
	ドイツ	1	1	0	2	4
	ポルトガル	1	0	0	0	0
	スウェーデン	1	0	0	2	1
	ノルウェー	1	0	0	0	0

地域	国又は地域	締結校数	研究者		学生	
			派遣	受入	派遣	受入
	ポーランド	0	1	0	0	0
	ハンガリー	1	0	0	0	0
アジア	中華人民共和国	11	4	9	3	24
	大韓民国	14	9	1	1	19
	タイ	2	0	3	0	2
	インドネシア	1	0	0	0	3
	フィリピン共和国	2	0	0	9	0
	台湾	1	0	0	0	5
	シンガポール	0	0	0	0	0
	バングラディッシュ	0	0	1	0	0
	アルメニア	0	0	1	0	0
オセアニア	オーストラリア	1	0	1	0	0
合計		47	24	16	24	68
内 締結校に対する派遣・受入			10	5	15	68
非締結校に対する派遣・受入			14	11	0	0
前年度	合計	40	4	6	18	72
内 締結校に対する派遣・受入			1	5	18	72
非締結校に対する派遣・受入			3	1	0	0

注：協定校数は平成20年3月末現在

資料 5.1-3 平成19年度 国際交流協定校一覧（2008.3.1現在）

国・地域(数)	大学名	内容
アメリカ(6)	サンフランシスコ州立大学	学生交流(4人)
	テキサス大学オースチン校	学術交流・学生の交流(5人)
	ノースキャロライナ大学シャーロット校	学生の交流(5人)
	メリーランド大学ボルチモア校	学術のみ
	サンディエゴ州立大学	学術交流・学生の交流(5人)
	アーカンソー大学フォートスミス校	学生の交流(5人)
ドミニカ共和国(2)	サントドミンゴ自治大学	学術のみ
	ルイス・エドワード・アイバール病院 *	学術のみ
韓国(14)	南ソウル大学校	学生の交流(5人)
	忠州大学校	学術交流・学生の交流(5人)
	西京大学校	学術交流・学生の交流(5人)
	嶺南大学校	学術交流・学生の交流(5人)
	ソウル女子大学校	学生の交流(5人)
	高麗大学校	学術交流・学生の交流(5人)
	梨花女子大学校	学術交流・学生の交流(5人)
	順天大学校	学術交流・学生の交流(5人)
	培材大学校	学術交流・学生の交流(5人)
	暎園大学校	学術交流・学生の交流(5人)

	江南大学校	学術交流・学生の交流(5人)
	釜山大学校	学術交流・学生の交流(5人)
	江陵大学校	学術交流・学生の交流(5人)
	光州大学校	学術交流・学生の交流(5人)
中国(11)	江漢大学	学術交流・学生の交流(5人)
	河北医科大学 *	学術交流・学生の交流(1人)
	中華人民解放軍軍医進修学院 *	学術のみ
	遼寧師範大学	学生の交流(5人)
	香港大学	学術交流・学生の交流(5人)
	河北師範大学	学術交流・学生の交流(5人)
	華中科技大学	学術交流・学生の交流(5人)
	深せん大学	学術交流・学生の交流(5人)
	南陽理工大学	学術交流・学生の交流(5人)
	对外経済貿易大学	学術交流・学生の交流(5人)
	中南財經政法大学	学術交流・学生の交流(5人)
台湾(1)	東海大学	学生の交流(5人)
タイ(2)	チェンマイ大学	学術交流・学生の交流(5人)
	コンケン大学	学術交流・学生の交流(5人)
インドネシア(1)	バンドン工科大学	学術交流・学生の交流(3人)
フィリピン(2)	サン・ラザロ病院	学術交流・学生実習
	セントルークス病院	学術交流・学生実習
オーストラリア(1)	西オーストラリア大学	学術交流・学生の交流(5人)
英国(1)	バーススパ大学	学生の交流(5人)
スウェーデン(1)	メーラダーレン大学	学術交流・学生の交流(5人)
ドイツ(1)	パダボーン大学	学生の交流(5人)
オランダ(1)	ティルブルグ大学	学生の交流(5人)
ポルトガル(1)	ポルトカレンセ大学	学生の交流(3人)
ノルウェー(1)	オスロ大学	学術交流・学生の交流(2-4人)
ハンガリー(1)	カーロリ・ガーシュパール・カルビン派大学	学術交流・学生の交流(5人)

計47校

\*は、学部(医学部)間協定

## 5.2 調査等の協力

(現状)

研究調査や視察のために海外に出かけたり外国研究者の参加を得た国内での学会、フォーラム開催などを行っている。

平成19年度は、資料5.2-1に示している。なお、平成19年度は、中国武漢市にある大分市事務所を訪問した際、帰国留学生と面談し、中国留学生同窓会設立について意見交換を行った。同窓会設立についての検討は、引き続き行っていく。

また、学部独自の外国研究者との交流や支援事業等も行っており、平成19年度においても、ドミ

ニカ共和国への医療支援を継続している。

(評価)

韓国の協定校の学生来訪の受け入れや医療援助については、継続的に実施されており、一過性の協力ではないところが評価できる。

資料 5.2-1 平成 19 年度 その他の国際交流状況

本学 学部・研究科	国際交流の内容	実施期間	国名	機関等名	備考
大分大学	交流協定調印式 (訪問)	H19. 3. 31 ~ H19. 4. 4	大韓民国	釜山大学校	
大分大学	交流協定調印式 (訪問)	H19. 5. 22	アメリカ合衆 国	アーカンソー大学 フォートスミス校	
経済学部	国際シンポジウム (ユーロの意義とア ジア通貨単位の可 可能性)	H19. 6. 20	EU	大分 EU 協会	後援: 駐日 欧州委員 会代表部
大分大学	国際共同研究	H19. 7 ~H19. 10	オーストラリ ア	ニューサウスウェール ズ大学	
大分大学	交流協定調印式 (来訪)	H19. 8. 9	大韓民国	江陵大学校	
国際教育研究 センター	協定締結の打合せ	H19. 8. 14	ハンガリー	カーロリ・ガーシュパ ール・カルビン派大学	
大分大学	協定校来訪	H19. 8. 23	大韓民国	忠州大学校	
国際教育研究 センター	協定校訪問及び留 学フェア参加	H19. 9. 7 ~ H19. 9. 27	スウェーデン ノルウェー	メーラダーレン大学 オスロ大学	
教育福祉科学部	授業観察及び「算 数・数学を中心と した教科指導」に ついての研究協議	H19. 9. 9 ~H19. 9. 12	大韓民国	ミラル学校	大分大学 参加者(教 員 3 名)
国際教育研究 センター	協定校訪問 (招待)	H19. 9. 10 ~ H19. 9. 20	大韓民国	嶺南大学校	学生、教職 員
教育福祉科学部	児童生徒・附属教職 員・保護者との交 流。小中高・学部 における指導方法 について意見交換	H20. 1. 7 ~H20. 1. 12	大韓民国	ミラル学校	ミラル学 校教職員 来校(8 名)
国際教育研究 センター	派遣留学生受入状 況調査	H20. 2. 3 ~ H20. 2. 9	タイ	チェンマイ大学 コンケン大学	
大分大学	大分市武漢事務所 訪問	H20. 2. 12 ~ H20. 2. 16	中国	大分市武漢事務所	
大分大学	博士後期課程大学 院生留学事前打ち 合わせ	H20. 2. 16	インドネシア	ハサヌディン大学	
大分大学	協定校訪問	H20. 2. 24 ~ H20. 3. 1	オーストラリ ア	西オーストラリア大学	
大分大学	協定校来訪	H20. 3. 3 ~ H20. 3. 4	大韓民国	培材大学校	
国際教育研究 センター	派遣留学生受入状 況調査	H20. 3. 4 ~ H20. 3. 17	ハンガリー スウェーデン ノルウェー	カーロリ・ガーシュパ ール・カルビン派大学 メーラダーレン大学	

				オスロ大学	
大分大学	交流協定調印式 (訪問)	H19. 3. 12 ~ H18. 3. 16	大韓民国	光州大学校ほか	

資料 5.2-2 平成 19 年度 学部単独の国際交流活動

学 部	交 流 大 学 等	交 流 内 容
教育福祉科学部	韓国自閉症養護学校「ミラル学校」	研究者及び教職員
経済学部	梨花女子大学 アジア、ヨーロッパの数校	国際学生フォーラム 講演会、学会など
	サンディエゴ州立大学、 梨花女子大学	学生の語学研修派遣
医学部	高麗大学	日韓合同カンファランス開催
	サン・ラザロ病院	サン・ラザロ病院研修プログラム (学生実習)
	河北医科大学	共同研究「東アジアにおけるヘリコバクター・ピロリ感染と胃癌研究の拠点形成」
工学部	韓国の大学	電磁応用に関する日韓シンポジウム 2008 年 2 月 1 日～2 日 プサン Dong-A Univ.
	シシエチェン工科大学	環境浄化に関するシンポジウム
	ソウル大学	炭素材料に関する研究と意見交換
	密陽大学	日韓共同シンポジウム開催

## 6. 同窓会との連携

(現状)

本学の同窓会は学部・学科等の単位で組織されている。平成 17 年度に、大学と同窓会との連携および同窓会相互の連携を目的として、全同窓会の合同交流会を大分（大分県内在住者対象：参加 212 名）及び東京（関東地区在住者対象：参加 94 名）で開催した。平成 18 年度には大阪（関西地区在住者対象：参加 69 名）で開催し、平成 19 年度は、福岡（九州地区在住者（県内を除く））で開催した。平成 20 年度は、本学且野原キャンパスで実施予定である。

また、同窓会相互のより一層の連携を図るため、同窓会連合体の結成に向けて検討を進めている。

(評価)

学部別同窓会を連携しようと積極的に働きかけており、適切に対応している。